

長崎要塞司令官へ指令案

申請ノ通認有テ

八月三十日

但ニ費用ハ令達修儀費ヨリ支辨ニ其工事ニ
関スルハ築城部本部長ノ指示ヲ受クヘシ

高級副官ヨリ第十八師團参謀長へ通牒案

長崎要塞陸ノ尾島火薬支庫補修ノ件
ニ関シ乙亥第三三八號ヲ以テ貴師團長ヨリ
進達相成候處別紙ノ通指令相成候
間戻達方取計相成度候也

八月三十日



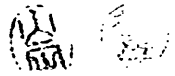
高級副官ヨリ築城部本部長へ通條案
 長崎要塞陰ノ尾島火薬支庫補修ノ
 件ニ関シ左記ノ通當該要塞司令官へ
 指令相成候間北段及通條儀也

十年間保存

陸軍省 陸密第一六四

八月三十日

陸軍





尾



陸軍省 密受第三八九

七月廿八日

長崎要塞陸尾崎火藥支庫補修件申請

銃表第一二五號



長崎要塞陸尾崎火藥支庫補修件申請

明治四十三年七月廿三日

長崎要塞司令官鶴見敷馬

陸軍大臣子爵寺内正毅殿



當要塞現在清涼火藥庫ノ建設ナキ為メ目下陸尾
 崎火藥支庫ヲ利用シ要塞備附及重砲兵隊保管無
 煙火藥悉皆貯藏致居候然ルニ該庫ハ元來清涼
 火藥庫建築仕法ニ合セズ明治三十六年八月廿九日兵務
 本廠再案ニ一九九号別冊火藥庫溫度觀測法第三
 觀測規定ニヨリ毎日午前十時ノ溫度ヲ觀測スルニ八月
 ニ於テ最高溫度攝氏三十四度ヲ示シ候該規定ニ依

長崎要塞司令官
 一敷量及修費
 八月廿九日
 鏡能深



0359

長崎馬場(傳)及左堂紀事係委官種下業
一數量及修事費於乙現古日係傳自(一)下
以事予古(事)知(事)互

八月九日。

工舟課



鏡能課中

長崎五重(傳)及左堂紀事係委官種下業
一數量及修事費於乙現古日係傳自(一)下

長崎五重(傳)及左堂紀事係委官種下業
一數量及修事費於乙現古日係傳自(一)下
將(事)無(事)之(用)天(陽)會
一(事)九(事)八(事)
一(事)九(事)八(事)
一(事)九(事)八(事)

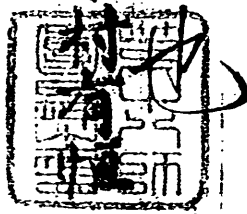
鏡能課

本庫外、温度攝氏三十五度ニ昇騰スル窓戸ヲ開キ
 通風ヲ行フ等勅メテ庫内清涼ノ法ヲ講シ急報スル事
 ニ相成居候之ニ依テ該庫ハ僅カ温度一度ノ餘祐
 ヲ有スルノニテ将来如何ナル変化ヲ來スヤモ難計危
 險ノ顧慮モ有之候間此際別紙仕法ニヨリ補修方
 御診議相成度候也

目録第一卷第三十八號

本件申請付認可相成度候

明治四十二年七月廿六日第十八師團長木



長崎要塞陸尾島火薬支庫補修工事調書

一 補修經費

金七百五拾円

補修工事要領 (別紙圖面)

一 下屋根以下在来ノ儘トス (在来ノ屋根軒出ナシ)

二 在来屋根ヲ下屋根ニ改造シ上屋根ハ清涼火薬庫

建築仕法ニ依ル

三 天井ハ梁下ヨリ床面迄ノ高サ低キヲ以テ特ニ梁上面


ニ張立ヲ兩妻ニ接シテ開閉ノ排氣口ヲ設ク

四 入口庇ヲ五尺ノ下家トス



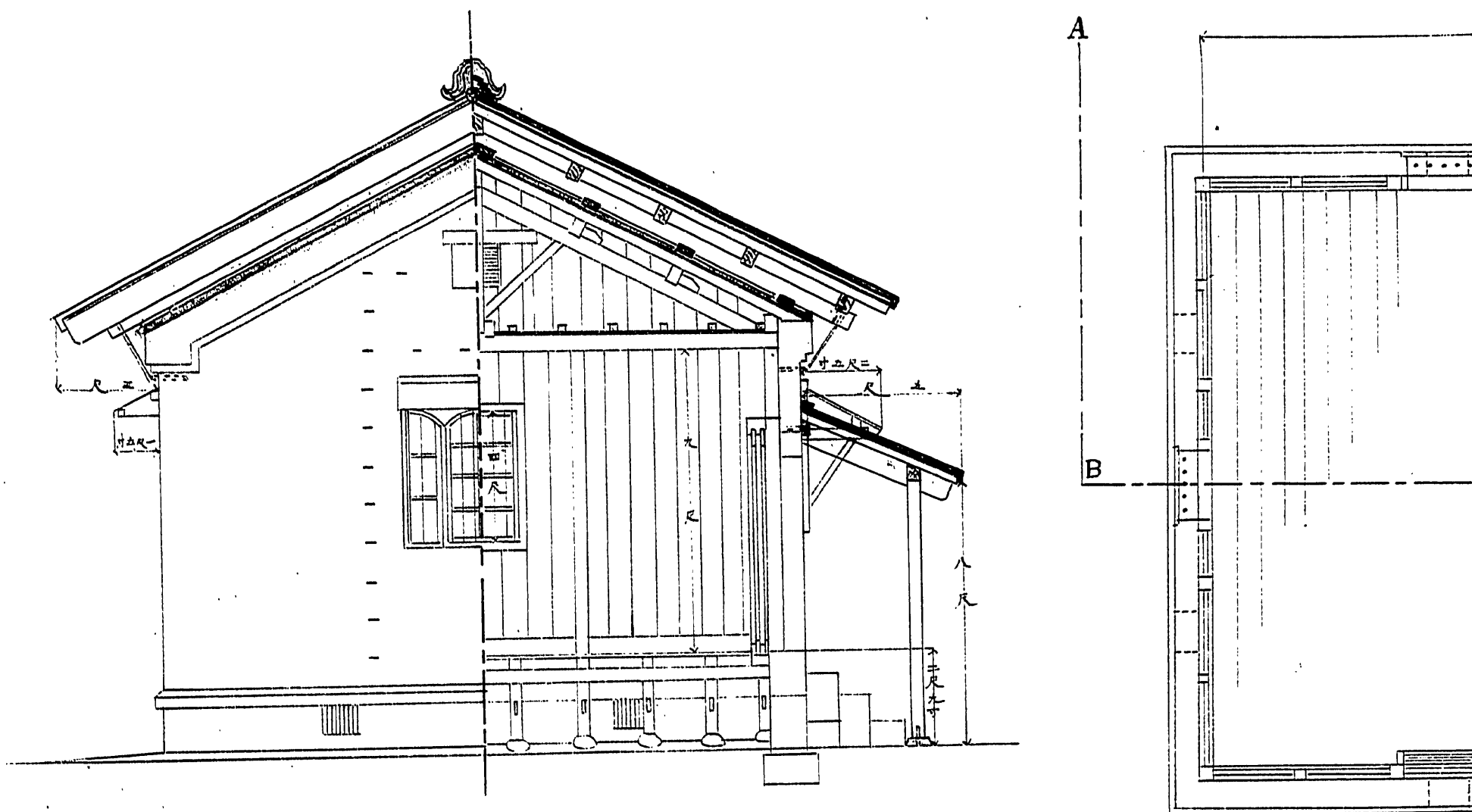
五
在床面ニ敷物ナキヲ以テリノリヤムヲ張リニツ

分割撮影ターゲット

分割した部分の撮影順序	<table border="1" data-bbox="703 517 1023 875"><tr><td data-bbox="703 517 1023 696">2</td></tr><tr><td data-bbox="703 696 1023 875">1</td></tr></table>	2	1
2			
1			
分割撮影した理由	A 3判以上のため		
<p>上記のとおり分割撮影したことを証明する</p> <p>7 年 9 月 7 日</p> <p>主務者又は 撮影立会者 坂根嘉和 </p>			

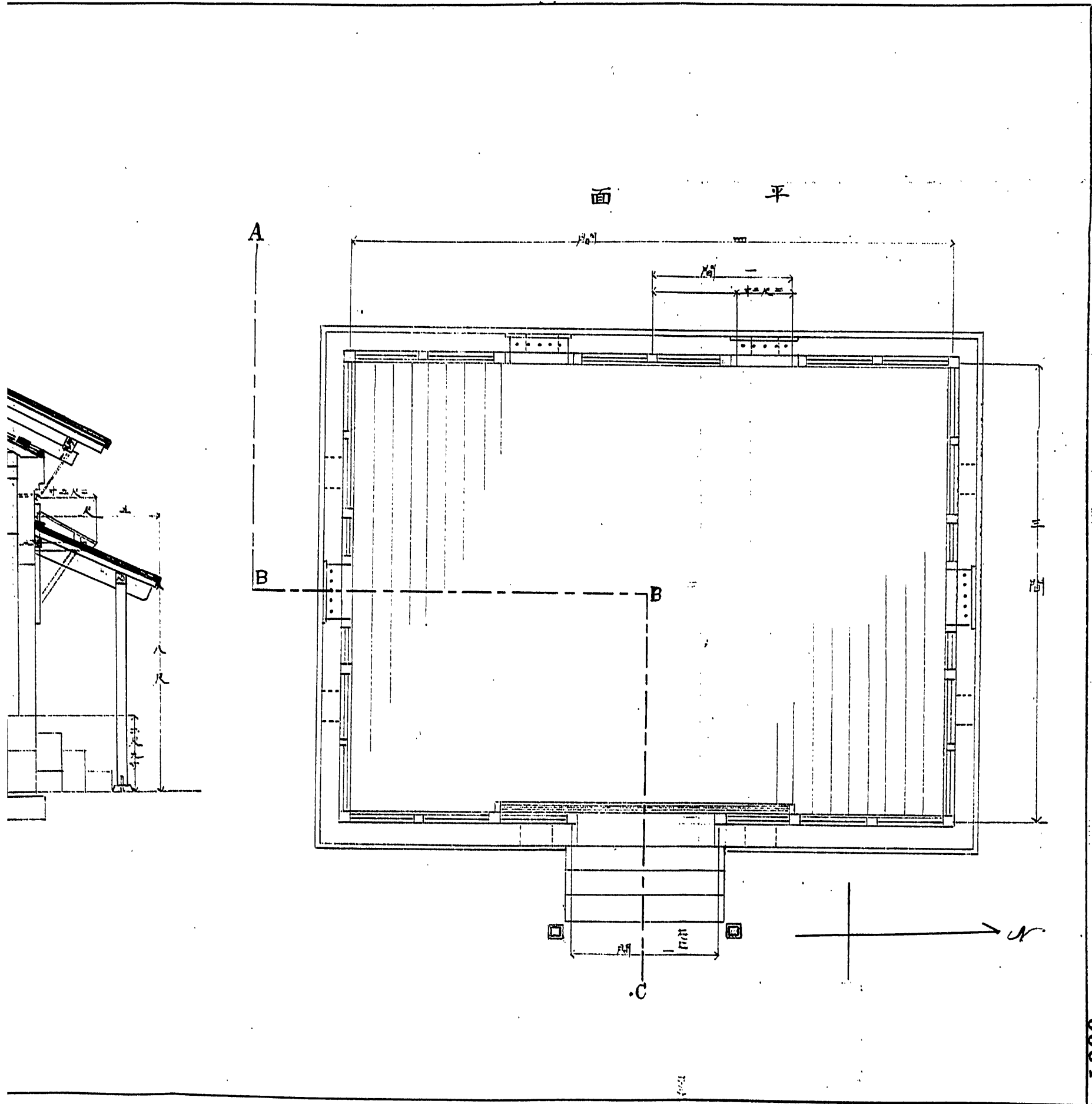
島大藥支庫補修工事之圖 $\frac{1}{50}$

面斷 / ABC



0363

修補庫支薬大島尾、蔭



0365

冬照

0366

明治卅三年八月日

課長五

課長ヨリ築城部

別紙ノ通サ陰尾島火薬土

要塞司令官ヨリ申請ノエ

目的ヲ得ヘキモノナルヲ

涼火薬庫トシテ利用スヘキ地

義ニ候刻一應御立見

陸

明治卅三年八月日

工往第 八〇 號

課長 五

課員



六月一日

課長ヨリ築城部本部長へ

別紙ノ通サ陰尾島火薬支庫改修ノ件長崎
要塞司令官ヨリ申請ノ趣有果トテ改修ノ
目的ヲ達シ得ヘキモノナルヲ將々今要塞ハ他ニ清
涼火薬庫トシテ利用スヘキ地下倉庫リ有セサル
義ニ候却一應御立見義知致度

陸 軍

別

五

陸軍省

甲第六四號

陸軍省第二九六号

天月六日

長崎要塞蔭ノ尾島火薬支庫補修件回答

明治四十三年八月五日

築城部本部長村田

陸軍省工兵課長井上仁郎殿



長崎要塞蔭ノ尾島火薬支庫補修ノ件本月
 一日工往第八〇號照會ノ趣了承該火薬支
 庫ヲ改修シテ清凉庫ノ性能ヲ充タセンニ
 要塞司令部提出ノ補修工事要領ノ外左記
 二項ヲ實施スルヲ要ス又全要塞ニ於テ清
 凉庫ニ利用シ得ハキ地下構造物トシテハ
 各砲臺ニ砲側庫ヲ有ス

陸軍省

陸軍省

8980

尾島

陸軍省
尾島

内

六月六日



件本月
火藥支
セシニ
外左記
於テ清
シテハ

尾

8980

能例原

神ノ高ノ書

紙凡

原島凡

五〇年未

一五

一五

三

一

一

右及回答候也

追而別紙用濟 = 付及返戻候

左記

一、支庫側煉瓦壁内面ト羽目板間 = 空隙ヲ

存シ清凉火薬庫建築仕法 = ヨリ粉殻ヲ

填實スルコト

二、庫外柵門 = 沿フテ常盤木ヲ植栽シ日光

ノ直射ヲ防止スルコト

一 陸 軍 省

0370

兵部

第一	恭平組合	一月廿四日	白金線信及掛下ノ件	一八
第二	自働拳銃合資會掛下ノ件	二月九日	四六	
第三	重砲兵隊重砲兵射撃學校應用洋菓支給ノ旨ノ件	三月三日	六六	
第四	法國、兵務省部ノ件	三月八日	七四	
第五	法國、賣却、核閃銃、射撃抗議申出ノ旨ノ件	四月八日	二八六	
第六	三八式野砲取扱法申追加ノ件	四月廿一日	一二七	
第七	技術審査部	四月廿三日	一五五	

泰平組合

舊式兵器拵下、一件

第十支字信雄

號

四月廿六日

一六〇

米國貿易会社

戦利兵器拵下、一件

二月廿八日

一五八

泰平組合

兵器拵下、一件

五月二日

一六二

兵器本廠

警備用洋薬、一件

五月廿

一七八

大倉組

戦利鏡及実包拵下、一件

五月廿

一九六

鏡砲課

戦利兵器拵下、一件

五月廿

二一三

鏡砲課

戦利兵器拵下、一件

五月廿

二一三

一四

森岡莫

七月八

兵器拵下、件

二五三

一五

外略名

八月廿

兵器拵、二件

二八五

一六

泰平組令

十月十

兵器拵下、件

四二七

一七

令

十月廿

令

四〇五

一八

銃砲課

十月廿

重砲原及重砲兵射撃学校所用彈薬又銃、四件

四一七

一九

十文字信旗

一廿

小銃及同彈薬拵下、件

四六〇

二〇

號

十月廿

土七

四七〇

中文字信札 外京

小銃及同彈薬拵下、件

二一

十月七日

五七一號

合

小銃及同彈薬拵下、件

二二

十月十四日

五九〇號

器材課

戦用通信器材支給、件

二三

十月十七日

五九〇號

恭平組令

兵器拵下、件

二四

十一月一日

五二六號

合

兵器拵下、件

二五

十一月八日

五五一號

銃砲課

重砲兵器假兵器表變更支取表中變更、件

二六

十一月十三日

五五九號

恭平組令

兵器拵下、件